

ゆずみだいのあ通信 第82号

長野県社会福祉事業団 特別養護老人ホーム泉平ハイツ 発行者 伊藤 靖

〒389-1105 長野県長野市豊野町豊野 2298-2 Tel 026-257-5180 Fax 026-257-5184



所長 伊藤 靖

皆様方には日頃より当泉平ハイツの運営にご理解、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

泉平ハイツは、令和2年4月に社会福祉法人長野県社会福祉事業団と合併し5年目となりますが、児童、障がい者及び高齢者福祉の各分野を網羅する総合的な社会福祉法人の一員として、旧法人の設立の精神である「無償の愛」を実践し、ご利用者に寄り添った、その人らしい生活の場の提供に努めております。

また、5類に移行しました新型コロナウイルス感染症に関するものは、日常に戻りつつあるものの、4月に施設内感染が確認されたこともあり、引き続き感染予防対策を徹底して参りたいと考えております。さて、今年度は介護報酬改

定の年に当たり、基本報酬の見直しや「地域包括ケアシステムの深化・推進」などを基本的な視点として介護報酬改定が行われます。泉平ハイツの種別である介護老人福祉施設では、「医療と介護の連携の推進」の観点から、これまでに以上に高齢者施設等と医療機関の連携強化が施設運営に求められ、緊急時等の対応方法の定期的な見直しや協力医療機関との連携体制の構築が義務付けられました。

介護報酬改定によりご利用者、ご家族のご負担が増すこととなりますが、ご利用者が安心安全に暮らせる施設となるよう、質の高い介護サービスを提供するとともに、健全経営に努めていく所存です。

また、これからも地域とともに歩み、地域の皆様方から信頼され、地域に貢献する施設を目指して参ります。職員一同、心を合わせて全力を注いで頑張つて参りますので、どうか、今後とも皆様方のご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

お花見

4月15日に、ご利用者の方々とりんごの丘公園にお花見へ行きました。

もう散り際かと思つていましたが平年よりも遅咲きの桜だったため、公園を囲むように植えられた桜はちょうど満開となつていました。

どこを見上げてても淡いピンク色の桜の花で埋め尽くされており、ご利用者の一人が立ち上がりてみると手が届く枝の先まで花が咲いていました。見渡す限りの桜に皆さん圧倒され、「きれいだね」「暖かくていいね」等、話を弾ませていました。心地よい風が吹くと、皆さん楽しそうに両手を上げて桜吹雪を堪能していました。



今後も外出やイベントへの参加を増やし、ご利用者の皆さんが楽しみ、季節の移ろいを感じる事が出来るように支援して参ります。





佐藤 武司

昨年度まで豊野ダイサー
ビスセンターに勤務させて頂
き、4月から総務課に配属に
なりました佐藤武司です。
初めての職種ということ
もあり皆様にご迷惑をおかけ
することもあると思いま
すが、ダイサービスで勤めた経
験を活かし、周りの方々に指
導して頂きながら、頑張っ
ていきますのでよろしくお願い
致します。



栗田 将伍

令和6年4月より総務課へ
配属となりました、栗田将伍
と申します。
長野県の北側小谷村から来
ました。趣味は映画や映像作
品などを見ることなので、映
画館が近くにあるのがとても
嬉しいです。
これまで培ってきた経験を
仕事に生かしていければと思
っております。
よろしくお願い致します。



黒崎 身紀

はじめまして。 医務班の看
護師としてお世話になってい
ます黒崎身紀と申します。
特養勤務の経験は浅いた
め、先輩方に助けていただき
ながら日々勉強し、自分な
りに業務に携わっています。
これからも泉平ハイツの一
員として、ご利用者が安心し
て穏やかな生活が送れるよう
支援に努めてまいります。
よろしくお願い致します。



宮川 優華

3月から医務班に配属とな
りました宮川優華です。
趣味はドライブです。 お気
に入りの場所は・・・決めら
れないほどたくさんありま
す。
看護師として未熟ではあり
ますが、先輩からのご指導の
もと成長していけるよう頑張
ります。
これからもよろしくお願い
致します。



澤田 文雄

2月より食事班に配属と
なりました澤田文雄と申しま
す。調理師として20年程の経
験を積んできました。
現在、食事班の皆様へ指導・
激励頂きながら日々頑張っ
ております。皆様の食事をより
一層楽しんで頂けるよう自己
研鑽に励んで参ります。
どうぞよろしくお願い致し
ます。



春日 泰聖

4月より食事班に配属とな
りました春日泰聖と申しま
す。
調理師の業務経験は6年に
なりますが、まだ慣れない現
場で周りの方々に支えられ
ながら一生懸命頑張っていま
す。美味しい食事を皆様に届
けられるように毎日努めてま
いります。
よろしくお願い致します。

新 職 員 紹 介



湯本 駿幸

4月からあじさいグループ
に配属になりました湯本駿幸
です！
私は体を動かす事が好き
で、特にバレーボールが大好
きです！
これからは、多くのご利用
者と関わりながら一人ひとり
のことを知り自分を知りなが
ら毎日有意義な時間を沢山過
ごしていきたいと思います。
よろしくお願致します。



横山 友紀

4月1日より、さくらグル
ープに配属されました。
介護の仕事からしばらく離
れていたのですが、いろいろ思
い出しながら慌てずゆつくりと
やっていこうと思います。
休みの日は、家の近くをの
んびり散歩し、時にポットと
しています。
業務中は気持ちのスイッチ
を切り替えて、ポットとしな
いように注意したいと思いま
す。よろしくお願致します。



大越 身奈

令和5年12月より、すずら
んグループに配属となりまし
た大越身奈です。
趣味は旅行をする事と滝を
見る事です。旅行先に滝がある
と知れば見に行っています。
記憶に残っているのは伊勢
神宮に旅行した事です。ちょ
うど式年遷宮の年で20年に一
度の貴重な場面に出会えた事
に感動しました。これからよ
ろしくお願致します。



返町 しの

4月からつばきグルー
ープに配属になりました返町し
のと申します。
ご利用者とのコミュニケ
ーションを大切にし、一人ひ
とりの気持ちに寄り添った行
動ができるように精一杯努め
ていきます。
まだまだ経験も浅く、分
からないことが多々あります
が、先輩方のご指導と支えに
感謝しながら一生懸命頑張
っていきますのでよろしくお願
致します。



小橋 浩章

4月からすずらんグルー
ープに配属になりました小橋浩
章です。生まれは旧豊田村で
田んぼの広がるのどかな場所
で育ちました。
趣味はドライブで、音楽を
聴きながら気ままにハンドル
を握り遠出しています。
ご利用者一人ひとりに寄
り添い、共に歩んで行きたい
です。頑張りますのでよろし
くお願致します。



豊野チャーチル会 絵画の展示

3月11日に「豊野チャ
ーチル会」の皆様がホール
に絵画作品を展示してくだ
さいました。
この会は、昭和33年に
当時豊野町公民館長であ
り、地域の指導者の立場で
あった高津正雄氏と第16代
豊野西小学校長の増田仁義
氏が、地域の美しい自然の
姿を後世のために絵画にし
て残しておこうと、同好者
を募り創設しました。
ハイツのご利用者のお
一人が入所前まで長年にわ
たり所属されておりまし
た。昨年ハイツの盆法要で
来訪された同会のお仲間の
佐藤泰憲住職に久しぶりに
再会し、思い出話をされた
ご縁で今回の展示に至りま
した。
豊野町の慣れ親しんだ
光景や美しい自然が描かれ
た作品にご利用者も職員も
心を癒され、元気を頂くこ
とができました。

職員勉強会

— 安心安全な
暮らしにむけて —

泉平ハイツでは感染症発
生を想定した勉強会を年2
回行っています。
コロナ陽性者の隔離、接
触者の抗原検査の実施、感
染予防物品の準備の一連を
訓練しました。



⇒陽性者の隔離の様子。消
毒後、ベッドや荷物を陽性
者専用部屋へ移動させます。



⇒感染予防物品をそろえて

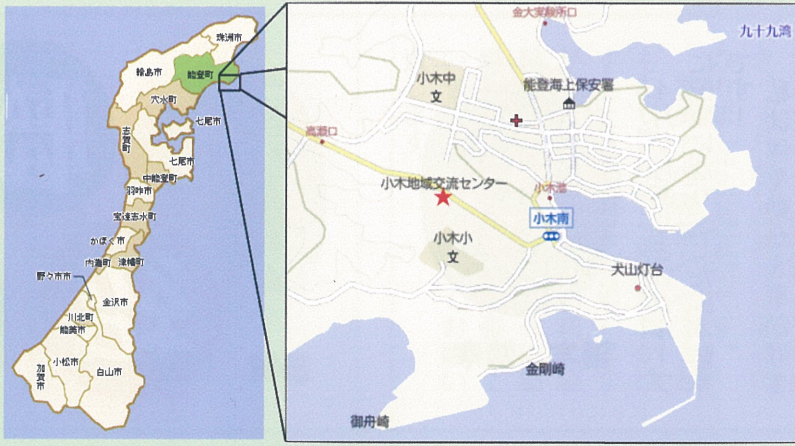
おき、防護服を着て居室に
入ります。



⇒防護服着脱訓練の様子。
感染予防の為、正しい着脱
手順で防護服の着脱が出来
るよう訓練しました。

持ち込まない事が大前提
ですが当施設でもクラスター
の発生があり、日頃から着脱
訓練と細目な手指・物品の消
毒をして危機感を高めていま
す。コロナ禍で面会や外出が
十分にできない状態が長く、
ご家族にもご利用者にも寂し
い期間だったと思います。
これからは感染予防に努
め、安心して穏やかな日常が
過ごせるよう訓練を重ねて参
ります。

能登地震支援



▲「災害用トイレ」ラップポン”
詳しく知りたい方は”ラップ
ポン”で検索してみてください
でしょうか。

▲ 小木町役場避難所でデイサービス利用者の支援にあたりました。



▲非常食を使ってスープ作り
「美味しい」と食べて頂けた
ので良かったです。



▲支援者が宿泊するトレーラーハウス。
中は思いのほか狭く寒いです。



▲皆さん一人ひとり何かできる事が
あると思います。少しでも気に掛
けて頂けると嬉しく思います。

令和6年2月
7日～11日の5
日間、長野市社
会福祉協議会の
「ふくしチーム」
の一員として能
登町へ災害支援
へ行ってきました。



▲他人事ではなく、明日は我が身。
一日一日、大切に過ごしましょう。



▲ある日の昼食（避難者用）
炊き出しボランティア
から豚汁を頂きました。



▲パーティションで区切っただけの個室空間ですが、
「横になれるだけありがたい」と話される方がほとんどでした。



▲避難所とはいえこのような落ち着く
場所は大切ですよ。



▲非常食であってもバランスの良い食事は大切。

編集後記

私の家には飼い猫が二匹います。

隣家も猫を何匹か飼っており、時折窓越しに見つめ合っている姿を見ます。完全室内飼いの我が家とは違い、庭から自由に外に出てくる隣の猫たちは、隣接している私の家の駐車場で猫の集会をしていることがあります。

ある日出掛けようと玄関を開けると、驚いたようにこちらを見上げてくる猫たち。飼い主以外はまだ警戒しているのか、撫でようとすると蜘蛛の子を散らす様に逃げていきます。

いつの日か猫の集会に混ざりたいと思いつつ、遠くから見守っている今日この頃です。



退職者

藤沢悦子
矢澤多美子